

入院診療計画書

鼠径ヘルニア

患者氏名：

主治医名：

患者ID：

看護師名：

作成日：

日付	(/)	(/)	(/)	(/)
ステップ名称	一日前	術前	術後	一日後
目標	消化管の症状・所見がない 手術について理解できる	身体的準備ができています	麻酔から覚醒する 疼痛のコントロールができています	日常生活の注意点について理解できる
投薬	常時内服されているお薬を確認します。継続するか医師に確認しお知らせします。22時に下剤を内服します	指示があるまでは、内服薬は中止となります		医師の指示により、持参薬の再開と痛み止めの内服ができます
注射		手術室に行く前に点滴をします。朝1番の手術の場合は手術室で点滴します	引き続き点滴をします。手術終了後に抗生物質の点滴をします	点滴を終了します
検査			手術後ベッド上でX線撮影があります	
処置	医師より手術についての説明があります。麻酔医と手術室看護師の訪問があります。分からないことや不安なことは御聴きください		心電図のモニターをつけ、場合によっては酸素を吸入をします。創部の観察をします。発熱時には氷枕や頓用薬を使用して熱を下げます	状態により退院日が前後することがありますのでご了承ください
看護情報	入院後に検温があります 身長と体重を測定します	手術室に行く前に検温をします	痛みなどは我慢せず看護師にお知らせください。痛み止めを使用し、痛みを和らげます 安全のためベッド柵を3本設置します	
			手術から戻った時から2時間毎に検温があります	6時と14時に検温をします 6時に検温をします
リハビリ・活動	活動の制限はありません		術後6時間はベッド上安静です	回診後医師の指示により歩行できます。初めの歩行は安全確認のため看護師が付き添います 活動の制限はありません。激しい運動をしている方やお仕事のある方は医師と相談してください
食事	夕食後から絶食となります。飲水は麻酔科医の指示された時間まで可能となります	絶飲食です	医師の指示により夕食より食事が開始になります。病院で出されたお食事をお召し上がりください。それ以外の飲食をされる場合は看護師に確認してください	
栄養	特別な栄養管理の必要性 有口 無口			
排泄		手術の30分前までにはトイレを済ませておいてください。	ベッド上で寝たままの排泄となります。排尿がない場合は膀胱まで細い管を入れる場合があります。	再脱出予防のため、便秘予防が大切です。飲水と適度な運動を心がけてください
清潔	シャワー浴または入浴ができます。また、看護師がお臍の掃除をします	手術前に洗面・歯磨きは済ませておきましょう	ベッド上安静となるため洗面は看護師がお手伝いします	お体を拭いて着替えをします 医師の許可でシャワー浴が可能となります。退院1週間後より入浴が可能です
指導	入院時オリエンテーションを看護師が行います。必要物品の確認と、血栓予防について説明します	入れ歯や時計は外し、その他貴重品は、セーフティーボックスに入れるか、ご家族の方に預けてください		退院後の生活の留意点などパンフレットに沿って説明します。退院後の療養生活について質問があればお受けします 退院の書類や診察券などを看護師がお持ちします。お部屋でお待ちください

※患者様の状態により、内容の変更がございます。あらかじめご了承ください。

上記通りの説明を受けました 年 月 日 患者氏名 () 親族、または代理人 続柄 () 横須賀共済病院 2016. 8